

## 日研生の修了レポート発表会が行われました。

8月6日、日本語・日本文化研修留学生（日研究生）7名による修了レポート発表会が行われました。発表したのは、オーストリア、中国、韓国、スリランカ、ロシアから来日し、昨年10月から和歌山大学で学んできた留学生です。テーマは、日本に来る前から決めてきたものもあれば、日本に来てから関心を持ってテーマにしたものもあり、以下のように、多様な内容です。「日本と韓国の大学入試の比較」、「日中の国語科教育対比—中学校・高等学校の課程標準から」、「『心中二枚絵草紙』の構想」、「日本のキャラクター文化」、「日本のお弁当文化」、「日本語における格助詞の『に』と『で』について」、「諸外国の教育システムと日本」。



会場では、日研究生以外の留学生も発表に聞き入り、流暢な日本語で堂々と発表する日研生の姿にたいへん刺激を受けていました。日本人にとっても、留学生が掘り下げた日本文化の側面や日本語の事象は興味深く、日頃、見過ごしてきた点に気付かされる内容ばかりでした。

講評を行った長友文子教授からは、「レポート作成を通して、学ぶ楽しさを知ってもらえたと思う。帰国後も、研究を広げられるよう、期待している。」とのお話がありました。

日研究生は、今月、レポートを完成させ、来月には帰国の予定です。

2015年8月6日

国際教育研究センター

